

# 鈴木豊ゼミナール

鈴木先生のプロフィールはHP参照 <http://prof.mt.tama.hosei.ac.jp/~yutaka/>

2024年に29期生を迎える歴史あるゼミです。

## 【テーマ】

ゲーム理論とその応用。企業と組織の経済学。契約理論。応用ミクロ経済学。

## 【テキスト】

マクミラン『経営戦略のゲーム理論』、ミルグロム・ロバーツ『組織の経済学』、梶井・松井『ミクロ経済学：戦略的アプローチ』、ラジアー『人事と組織の経済学』、岡田『ゲーム理論入門』、鈴木豊『完全理解ゲーム理論・契約理論』等。

## 【ゼミ生の進路】

金融、メーカー、流通、運輸、IT、マスコミ(番組制作)、政治家、公務員、大学院(東大2、大阪、慶應、法政)等。

## 【ゼミ生による推薦・紹介文】

### \*HW (第15期ゼミ長：三菱UFJ銀行)

ゼミではゲーム理論を中心にミクロ経済学、契約と組織の経済学の知識を深めることができました。授業は文献講読が中心で、章ごとに担当のゼミ生がレジュメを作成し発表します。また学習範囲に合わせて実際の企業の例や時事問題を取り上げて解説して頂けます。ゼミでは、きっと論理的思考力と積極性を高めることができますと思います。

### \*SH (第15期) (盛岡市役所、農水省(国Ⅱ)合格)

公務員試験を受験した立場から紹介しますと、鈴木ゼミでは経済学の基礎も学べ、公務員試験内容と重なる部分も多いです。私が考える一番の魅力は、先生が適宜、解説時に書く「図」です。教材にない先生独自の図は理解の大きな助けになるだけでなく、知的好奇心を刺激し、ゲーム理論を始めとした経済学の面白さを伝えてくれます。

### \*KN (第18期ゼミ長)

大阪大学大学院・修士 ⇒ 経営コンサルタント (PwC)  
ゼミでは、多くの知的好奇心を惹くトピックを学び、有益な議論が出来たことは貴重な体験でした。事実、ゼミで培った問題意識・興味関心は、進路選択にも大きな影響を及ぼしました。鈴木先生は、日頃より熱心に相談に乗って下さり、有益なアドバイスを毎回頂けるので、大変感謝しています。

### \*KK (第23期) 慶應義塾大学大学院・修士⇒福島県庁

私は鈴木先生のご指導のもと、地元福島県の課題に対してゲーム理論を用いた考察を行い、卒業論文を執筆しました。福島県庁の採用試験では、その研究の成果を自分の強みにすることができ、大きな自信となりました。ぜひ鈴木ゼミでたくさんのお話を学び、自らの課題解決に取り組んでほしいと思います。(優秀論文に選出。英語版と日本語版、両方提出。)

ゼミ生の声：2022年度春学期 伊藤元重『ビジネスエコノミクス 第2版』を読み終えてのリアクションペーパーより  
授業では、自分では気が付かなかった内容の深掘りも多く、様々な視点からの学びがありました。春学期は新たにゼミに入った2年生との関わりも話し合い等でできて楽しかったです。教授の話も興味深く、テキストの理解を深められたと思います。秋学期もよろしくお願いたします。

## 【アカデミズム=学界のゼミOB】

第1期 安藤至大さん(日本大学 教授)

第1期 中村匡克さん(高崎経済大学 教授)

第5期 大橋賢裕さん(日本大学 准教授)

## 【写真集】



2019年8月 夏合宿@山中湖



2020年10月 100周年記念プレゼンテーション大会

\*2022年度は201教室でほぼ対面でゼミを行いました。



2023年3月卒業式にて。